

全体見取り図（第3章・第4章）

第1章 地区計画の見直し方針の概要

地区計画の見直しの必要性

第2章 地区計画の効果検証・課題整理

地区計画の効果・課題を抽出

第3章 地区計画の見直しの方針

都心生活の質（QOL）の向上に向けた地区計画の見直しのあり方を示します。

方針1

地域特性・将来像に対応した
規制・誘導

【例】

- 昔からの商店・街並みの保全
- 緑豊かな地域の形成
- 用途の限定

など



▲ 番町の住宅街

▲ 神保町の本町店街

方針2

住機能の量だけでなく、
地域の「質」向上の誘導

【例】

- 多様な居住ニーズの実現
- 環境に配慮した建築物の誘導
- コミュニティに資する広場の誘導

など



▲ ECOM駿河台

▲ 神田スクエア

方針3

地域に関わる
多様な人の合意形成

【例】

- 勉強会の開催
- オープンハウスの開催
- 行政による支援

など



▲ オープンハウス

▲ 千代田都市づくり白書

第4章 実現への進め方

地域による地域のための地区計画の見直しの進め方を示します。

ステップ1
課題整理

ステップ2
将来像の検討

ステップ3
内容の検討

ステップ4
合意形成

ステップ5
策定

住民・
地権者等

- 現在の地区計画が地域課題や社会の変化に対応したものとなっているか
- 地域に必要な機能の検討
- 地域で大事にしていくものの検討

など

支援

- 地域に関わる多様な人との将来像の共有
- 実現に向けた地区計画の内容検討
- 地区計画で対応できない課題等の整理

など

支援

行政

- まちづくりに関するデータの提供
- 協議会等の開催支援
- 専門家等の派遣

など

- まちづくりの各種制度の情報提供
- オープンハウス・説明会等の開催
- パブリックコメントの実施

など

地区計画の策定

地域課題や社会変化等に応じて随時見直し